

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「入院患者への歯科衛生士による口腔衛生管理介入についての調査報告及び解析」に関する 研究実施のお知らせについて

当院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善などを目指す医学系研究を行なっています。そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくと同時に、対象者となられる方が研究不参加を望まれる場合にはその意思表示をしていただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長水田祥代）より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2024年3月31日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2020年10月1日から2022年9月30日までに、福岡歯科大学医科歯科総合病院にて入院治療を受けた患者さんのうち、当院歯科衛生士による口腔衛生管理（専門的口腔ケア）を受けられた方が対象です。

目標症例数は550例です。

この研究において、ご自身の診療情報が利用されることを望まれない場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。

2. 研究の目的や意義について

近年、入院患者への口腔衛生管理介入が術後肺炎や手術後の傷口からの感染予防に効果があることから入院期間の短縮に寄与すると認識されるようになり、口腔衛生管理の重要性に対して多職種の間で理解が広がりました。本院でも2014年5月より、院内外でがん治療や頭頸部手術、心臓手術などの前後で口腔からの感染予防を目的とした歯科治療および口腔衛生管理（周術期等口腔機能管理）を本格的に開始しました。それに伴い、福岡歯科大学医科歯科総合病院（以下、本院）歯科衛生士部では、2020年10月より本院病棟にて、病棟専任歯科衛生士を配置することになりました。今回、本院での病棟専任歯科衛生士配属後2年間の実態調査を行うことで、今後の改善点および指針を再検討することとしました。

3. 研究の方法について

この研究を行う際は、対象となる方の診療録より以下の情報を取得します。また、保管されている診療情報を用いて、各種疾患治療における歯科衛生士介入による口腔衛生管理の効果や肺炎などの術後合併症の予防効果等について明らかにします。

〔取得する情報〕

当院歯科衛生士に口腔衛生管理を依頼した診療科、年齢、性別、入院に至る主病名、血液データ（血液培養検査結果を含む）、生活背景、併存疾患・既往歴、治療内容、在院日数、要した歯科処置の種類、薬歴、転帰、初診時の口腔内の状態

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学総合歯科学講座訪問歯科センターにおいて研究責任者である歯科衛生士長手嶋直美と訪問歯科センター教授の森田浩光の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、保有する個人情報のうち、ご本人等からの求めに応じて、ご本人との確認をさせていただいた上で情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡歯科大学医科歯科総合病院 訪問歯科センター
研究責任者	福岡歯科大学医科歯科総合病院 歯科衛生士部 歯科衛生士長 手嶋 直美

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学医科歯科総合病院 歯科衛生士部 高野 志織 連絡先：〔TEL〕 092-801-0411 (内線：2183) 〔FAX〕 092-801-0736 メールアドレス：tshiori@fdcn.ac.jp
---------------	---

(作成日：2022年1月30日 最終修正日：2月27日)